

令和2年度外国人介護従事者指導担当職員向け研修 Q & A

質問	回答	回答者
	<p>ご質問ありがとうございます。私の考えでは、多分、何らかのテキストがあった方がいいと思います。中学生や高校生向けのものでも、いいものがあるように思います。何かテキストがないと、外国人職員は手元に何もないので、不安になるかと思います。</p>	<p>新宿日本語学校 校長 江副隆秀</p>
<p>文章を書く取り組みとして、テーマを決め、自由に書いてもらい、使い方の間違いを教えたり、漢字・ひらがなの間違いを教えているが、テキストを使用した方が良いか。</p>	<p>方法的には間違っていないと思います。当施設でも、作文指導を兼ねて、毎日書く日誌にその日に行った介護の内容などを書かせ指導しています。それによって、日本語指導担当も介護指導がどこまで進んでいるか把握でき、日本語教育にその内容を反映することができます。テキストを使用することのメリットは、テキストが作文能力を高めるために必要な文法や語彙、表現などを系統的に学べることです。しかし、その内容自体が、現場で必要している日本語能力とマッチしているとも限りませんので、施設独自の課題と併用していくのも、一つの良い方法と思います。</p>	<p>医療法人社団日成会 事務長 進藤孝英</p>
<p>留学生の為、プライベートの部分がわかりづらい。SNSを通じて情報交換をしているが、もっと踏み込んで信頼関係を築くべきか。</p>	<p>利用者や職員とどのよう接したらよいのか、分からず困っている可能性があるため、なるべく細かく相談できるシステムを作れるとよいと思います。</p> <p>そのためには、施設等で携帯を用意して、担当職員にもってもらい、相談できるようにすることも必要です。</p> <p>ただし一人の職員のみで対応すると負担が大きい場合もあるため、担当を日によってかえることもよいでしょう。施設や事業所の規模によって違いがありますが、2名程度の職員が担当することで、担当日が定められ、いつでも留学生からの相談にのることができます。</p> <p>できれば担当者の1名が、介護福祉士養成校の卒業生であると、養成校の教育内容や実習内容が分かり、留学生の困っていることや、相談した内容が理解できるのでよいかと思います。</p>	<p>群馬医療福祉大学短期大学部 教授 白井幸久</p>
	<p>プライベートの部分をどこまで把握するか、人により違いがあるので難しいところです。ただし外国人全般に言えることですが、特に留学生の場合、多くは日本国内に保護者といえる頼れる人間がいません。</p> <p>そのため必然的に施設や学校がその役割を担うケースも出てくるため、プライベートを含めて、ある程度管理するという割り切りも必要かもしれません。</p> <p>私の施設では、宿舎の外国人職員に対し、担当職員が朝・夕に声をかけたり、必ず事務所に寄る形にして、直接顔を合わせる関係を作っていると、困っていること等について相談してくれるようになりました。やはり、こまめに声をかけることがよいのだと思います。</p>	<p>至誠特別養護老人ホーム 園長 鈴木 篤</p>

質問	回答	回答者
<p>指導者は専門職としてではなく、兼業になると思われるが、実際の仕事量はどのくらいになるのか。また、受診付き添いなども勧められてるが監理団体では対応しないのか。</p>	<p>当施設の場合（EPA）、指導者はもちろん自分が持つ業務との兼任になります。例えば、当施設の日本語指導の時間数は、日本語学校を除いて週4~5時間になり、その時間分は取られることになります。介護指導は、OJTで行いますが、一つのルーティンの初期指導は、ほぼ指導者がかかりきりと思って差支えがありません。イメージとしては、未経験の介護職員の指導に近いと思います。違いは、日本語指導とリンクさせることで、その分未経験者の介護指導より時間が取られます。</p> <p>指導内容や支援内容も多岐にわたるため、介護、総務などでチームを作り、一人の負担が減るようにすることが必須となります。</p>	<p>医療法人社団日成会 事務長 進藤孝英</p>
	<p>在留資格によって、採用雇用関係の事務、介護業務の指導や必要とされることに違いがあり、分担によって仕事量が違ってきます。技能実習指導員の指導も、どのくらい丁寧にするかによっても違います。</p> <p>自施設で仕事を続けたいと感じてもらうためには、それなりの仕事量になります。受診付添いは、監理団体・支援団体に相談すれば対応してもらえる場合もありますが、即日対応が難しいことも多く、ほとんど施設で対応しています。</p>	<p>至誠特別養護老人ホーム 園長 鈴木 篤</p>
<p>理解度の確認のため、わからない言葉、わからなかった事は、聞くように指導してきたが、指導方法として間違っていないか。</p>	<p>間違っていないと思います。「わからない言葉」などの場合、日本語指導者を置くことができればよいと思います。相談できる環境を整えて、いつでも相談できるようにすることは必要ですね。</p>	<p>群馬医療福祉大学短期大学部 教授 白井幸久</p>
	<p>理解度の確認はもちろん必須なので、指導方法としては間違っていないと思います。</p> <p>ただ、人によっては「わからないことがわからない」場合も多々あるので、定期的に指導者と対話の場を持ち、確認することも大切です。</p> <p>わからない言葉も、目で確認できるものは指導者に聞くことができますが、会話など耳から入ってくる情報の場合、そもそもわからないので覚えることもできず、結局指導者に聞くことができない場合もあります。わからなかったことも同じで、その状況を説明できる能力が備わっていないければ、指導者に聞くのは難しいと思います。</p> <p>大切なのは、できるだけタイムリーに対話の時間を確保し、指導者側からも確認することだと思います。</p>	<p>医療法人社団日成会 事務長 進藤孝英</p>

質問	回答	回答者
<p>ゆっくり話す職員の話はわかるが、利用者の話は何を言っているのかわからない、という外国人の方への教育は、どうしたらよいか。</p>	<p>しばらくは、外国人職員一人で、担当させるのではなく、毎日の担当の日本人介護従事者と一緒に対応するのも、1つの方法だと言えます。また、日本語教育担当者にも相談にのってもらえるとよいでしょう。困っていることなどを一緒に解決するシステムがあることによって、一人で悩ませないことが大切です。</p> <p>日本語教育担当者の配置については、常勤が難しければ、非常勤を週2～3日程度おくのでもよいかと思えます。施設や事業所などに近い、日本語学校と提携し、講師を派遣してもらう方法も考えられます。</p> <p>また、利用者や家族には、外国人職員を入れることについて説明をしていると思いますが、外国人職員の日本語能力や文化について、再度、説明するのも1つの方法です。</p>	<p>群馬医療福祉大学短期大学部 教授 白井幸久</p>
<p>留学生は、自分達で住むところを探していたが、今後施設に入職する場合は、施設の近くに引越すように伝えた方がよいか。その場合も、施設が金銭面的な援助を行うべきか。</p>	<p>ご質問ありがとうございます。基本的には外国人職員が日本語の研修を受けた方がいいかと思えます。外国人に慣れていない母語話者（施設利用者）の場合、相手（外国人職員）が理解できるか理解できないかが分からないので、やはり、外国人側が日本語習得の技術を上げるほかに思えます。</p>	<p>新宿日本語学校 校長 江副隆秀</p>
<p>留学生は、自分達で住むところを探していたが、今後施設に入職する場合は、施設の近くに引越すように伝えた方がよいか。その場合も、施設が金銭面的な援助を行うべきか。</p>	<p>留学生の状況は人それぞれです。職場までの距離感も、出身国やこれまで暮らしていた地域によって異なります。施設の近くで住むことにはメリットもデメリットもありますので、留学生の意向を確認されてはいかがでしょうか。</p> <p>同じ国の出身者のコミュニティとのかかわりから、同国人の知人が多い場所を選択する人もいます。必ずしも職場施設の近くがよいとは限りません。</p> <p>入国して間もない外国人には住宅賃貸の手続きは大変ですから、何らかのサポートが必要でしょう。この場合も意向確認が重要です。留学生の経済的な事情もまちまちで、裕福な家庭で育った方もいます。金銭面の支援も一律ではなく、一人ひとりの事情に合わせる必要があります。</p>	<p>公益社団法人東京都介護福祉士会 会長 永嶋昌樹</p>
	<p>経済面に関するサポートは留学生にとっては大きいと思えます。ただし金銭援助については、日本人スタッフとの待遇の整合性（バランス）の視点も必要だと思えます。</p> <p>管理していく上では、住まいが近いと目が行き届きやすく、怪我や病気時の対応もしやすいなど安心につながります。また、ゴミ問題など近隣に対する注意も必要になる場合もあります。</p> <p>その反面、プライベートな部分に関わることにもなり、友人知人の出入りや生活面での細かい注意が必要になる場合など難しい点もあるので、その点を注意して判断してください。</p>	<p>至誠特別養護老人ホーム 園長 鈴木 篤</p>